



オミクロン株(XBB.1.5)対応 ワクチンの接種をご検討下さい

令和6年1月10日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

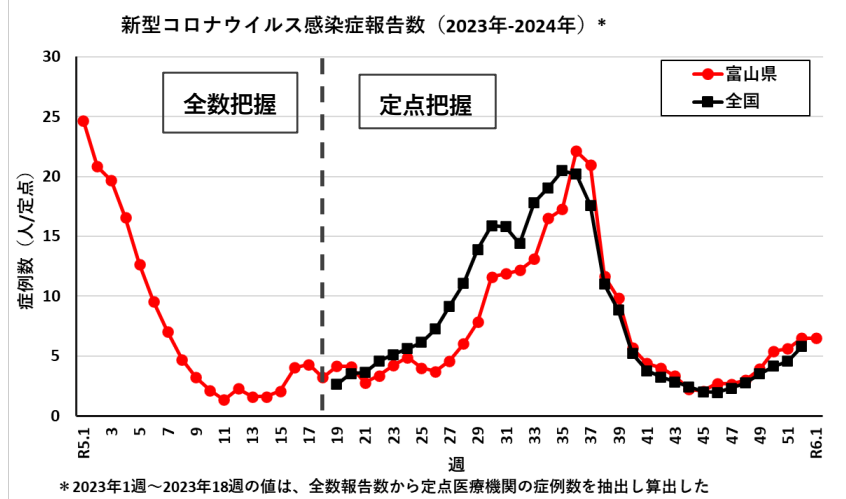
感染症発生動向速報

(令和6年第1週分・1月1日～1月7日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

全国の定点医療機関における新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、令和5年第36週以降減少傾向でしたが、令和5年第46週からは6週連続で増加し、令和5年第52週には5.79人/定点となりました。富山県の定点医療機関あたりの報告数も全国と同様に令和5年第47週以降、増加に転じましたが、今週(令和6年第1週)は6.56人/定点とほぼ横ばいでした(右図参照)。年末年始の報告数については、学校の冬季休業や医療機関の休業のため、流行状況が過小評価となっている可能性があります。このため、今後の感染動向には引き続き注意が必要です。



令和5年秋開始接種として令和5年9月20日以降、生後6ヶ月以上のすべての方に対して、新型コロナウイルス オミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチンの接種が可能になっています。同ワクチンの接種により、高齢者に対する重症化予防効果等が報告されています。このため、重症化リスクの高い65歳以上、基礎疾患がある方にはXBB.1.5対応ワクチンの接種が推奨されています。しかしながら、令和6年1月時点で、全国の高齢者における接種率は50%程度に留まっていることから、未接種の方は早期の接種をご検討ください。

現在、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策は個人の判断が基本となっています。感染予防を自主的に判断して実施する場合には、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けること等が有効です。高齢者等の重症化リスクの高い方への感染を防ぐ手段として、不織布マスクの着用も効果的です。新型コロナウイルスに感染した際には、発症後5日間が経過し、かつ解熱および症状軽快から24時間が経過するまでは外出を控えることを、厚生労働省および富山県は推奨しています。また、一般的に発症後10日間は、他者へ感染させるリスクがあるため、不織布マスクを着用するとともに、高齢者等の重症化リスクの高い方との接触は控える等、周囲の方を含めた感染対策に配慮しましょう。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2件 (①②ともに70歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (80歳代、男性、肺炎型)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	インフルエンザ	10.38 (↓)	20.90
2位	COVID-19	6.56 (↑)	6.54
3位	感染性胃腸炎	3.41 (↓)	6.03
4位	咽頭結膜熱	2.07 (↓)	4.55
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83 (↓)	5.93
6位	流行性角結膜炎	0.57 (↓)	0.71



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第1週 令和6年1月1日～令和6年1月7日）

分類	疾患	今週報告分（第1週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
主 数 把 握	二類感染症	結核				2	2					2	2		
	四類感染症	レジオネラ症				1	1					1	1		
定 点 把 握	インフルエンザ/ COVID-19定点 (48定点)	インフルエンザ	102	85	80	93	138	498	102	85	80	93	138	498	
		COVID-19	73	34	74	62	72	315	73	34	74	62	72	315	
上 段 ： 報 告 数、 下 段 ： 定 点 医 療 機 関 当 た り の 報 告 数	小児科定点 (29定点)	RSウイルス感染症			1			1			1			1	
		咽頭結膜熱	2	6	21	1	30	60	2	6	21	1	30	60	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	22	1	23	53	2	5	22	1	23	53	
		感染性胃腸炎	18	9	8	5	59	99	18	9	8	5	59	99	
		水痘		1		1	1	3		1		1	1	3	
		手足口病			3			3			3			3	
		突発性発しん		1				1		1				1	
		ヘルパンギーナ	4			1		5	4				1	5	
		流行性耳下腺炎				1		1					1	1	
		眼科定点 (7定点)	流行性角結膜炎	1		2		1	4	1		2		1	4
		入 院 サ ー ベ イ ラ ン ス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）	7	1	2	5	8	23	11	8	21	31	34	105
			COVID-19による入院患者	5	2	5	3	8	23	5	2	5	3	8	23

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)～の集計です。

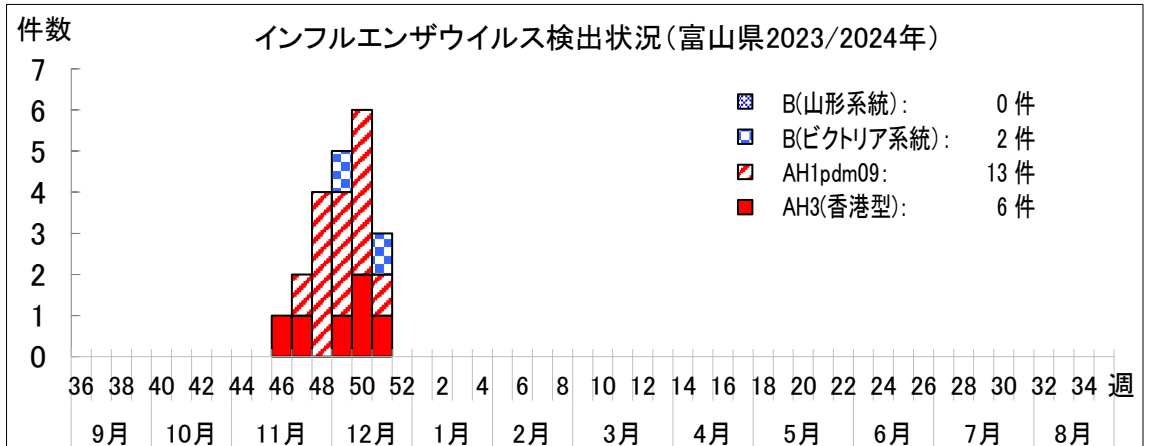
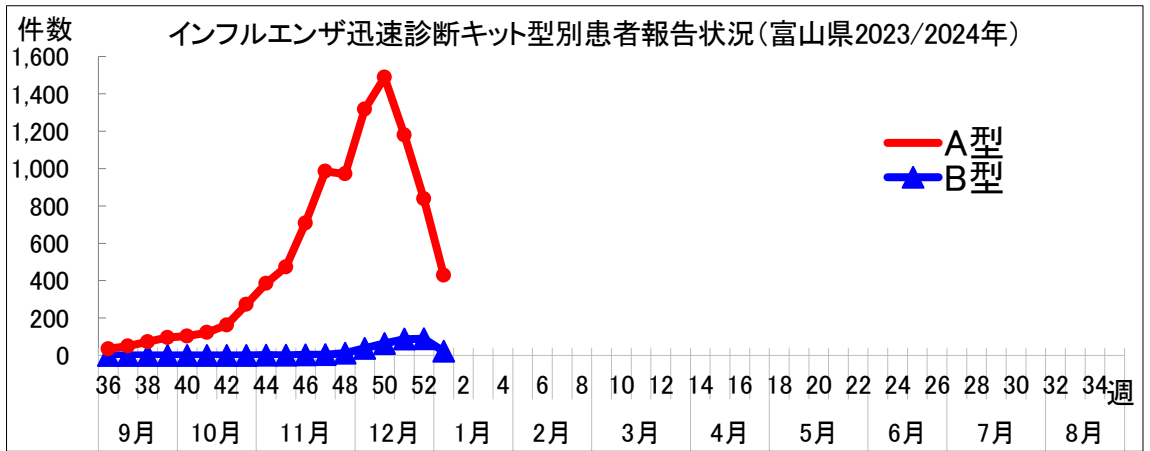
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が86.1%となっています。

第1週(1/1~1/7)：富山県 10.38人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	94	3	5	102
中部	5 / 5	65	2	18	85
高岡	11 / 13	73	0	7	80
砺波	7 / 7	85	3	5	93
富山市	15 / 16	112	14	12	138
富山県	45 / 48 ^{※1}	429	22	47	498
富山県累計(2023年36週~)		9,688	322	597	10,607

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





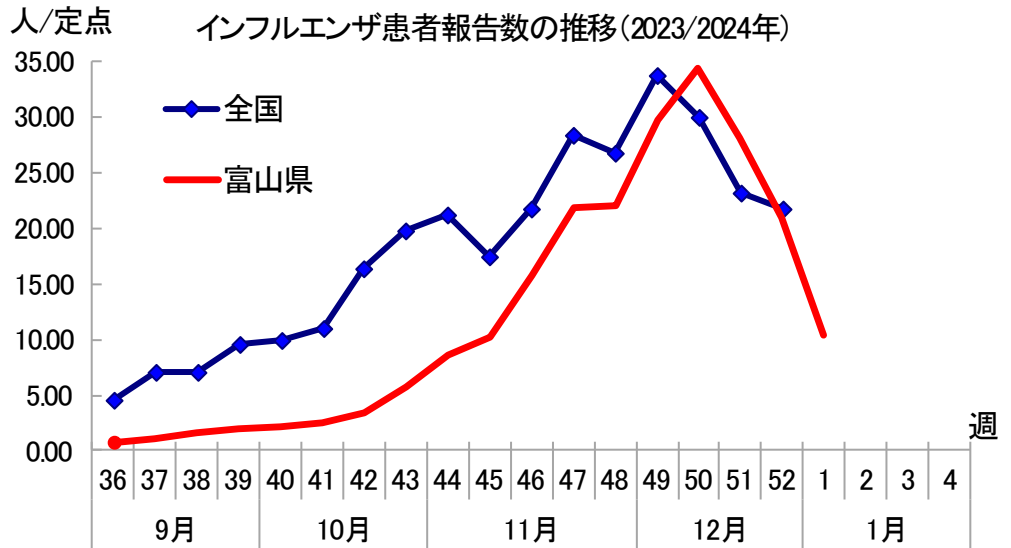
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第1週 (1/1~1/7) : 富山県 10.38 人/定点

新川 HC (14.57)、中部 HC (17.00)、高岡 HC (6.15)、砺波 HC (13.29)、富山市 HC (8.63)

全国の患者報告数は、第52週に21.65人/定点となり、前週と比較して減少しました。

県内の患者報告数は、今週10.38人/定点となり、大幅に減少しました。

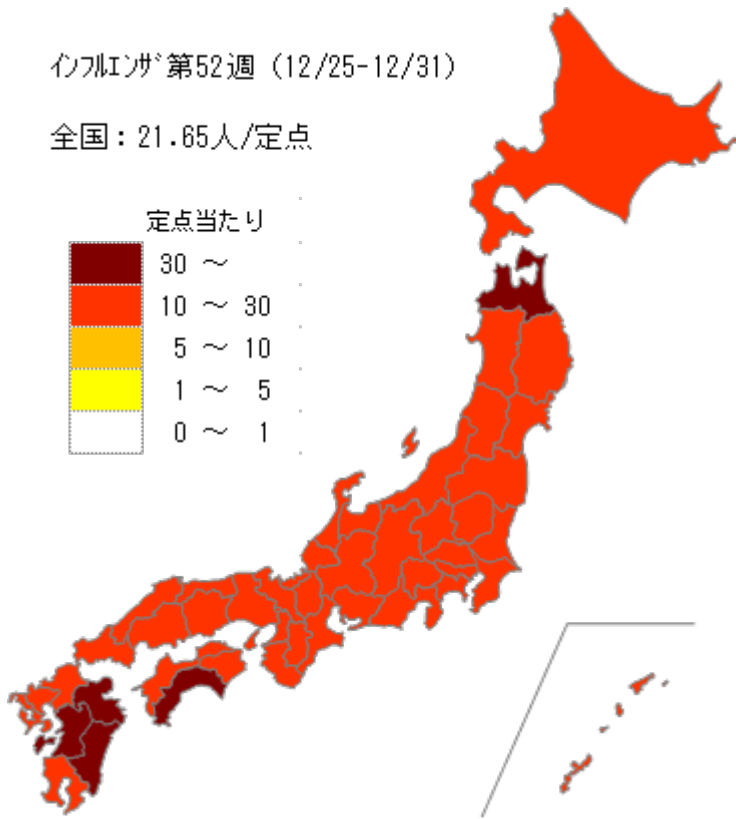
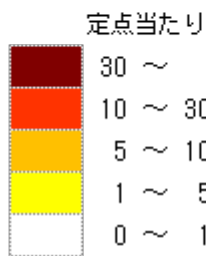


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第52週 (12/25~12/31)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり21.65人となり、前週の23.13人より減少しました。18都府県で前週より増加しています。

インフルが第52週 (12/25-12/31)

全国：21.65人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	24.19 ↓	滋賀県	17.83 ↑
青森県	30.38 ↓	京都府	17.78 ↑
岩手県	21.71 ↓	大阪府	15.67 ↓
宮城県	26.62 ↓	兵庫県	19.48 ↑
秋田県	20.27 ↑	奈良県	13.18 ↓
山形県	26.79 ↓	和歌山県	18.57 ↓
福島県	21.79 ↓	鳥取県	17.41 ↑
茨城県	28.15 ↑	島根県	21.50 ↑
栃木県	16.20 ↓	岡山県	14.08 ↓
群馬県	19.36 ↓	広島県	19.22 ↓
埼玉県	22.83 ↓	山口県	28.85 ↑
千葉県	23.18 ↓	徳島県	18.16 ↓
東京都	19.22 ↑	香川県	22.28 ↑
神奈川県	19.05 ↓	愛媛県	16.07 ↓
新潟県	24.63 ↓	高知県	36.25 ↑
富山県	20.90 ↓	福岡県	24.83 ↓
石川県	19.88 ↓	佐賀県	20.54 ↑
福井県	18.13 ↓	長崎県	26.36 ↑
山梨県	17.54 ↓	熊本県	32.46 ↑
長野県	17.31 ↓	大分県	35.66 ↓
岐阜県	18.68 ↑	宮崎県	44.86 ↑
静岡県	20.00 ↓	鹿児島県	27.18 ↑
愛知県	22.47 ↓	沖縄県	15.80 ↑
三重県	22.28 ↓	全国	21.65 ↓